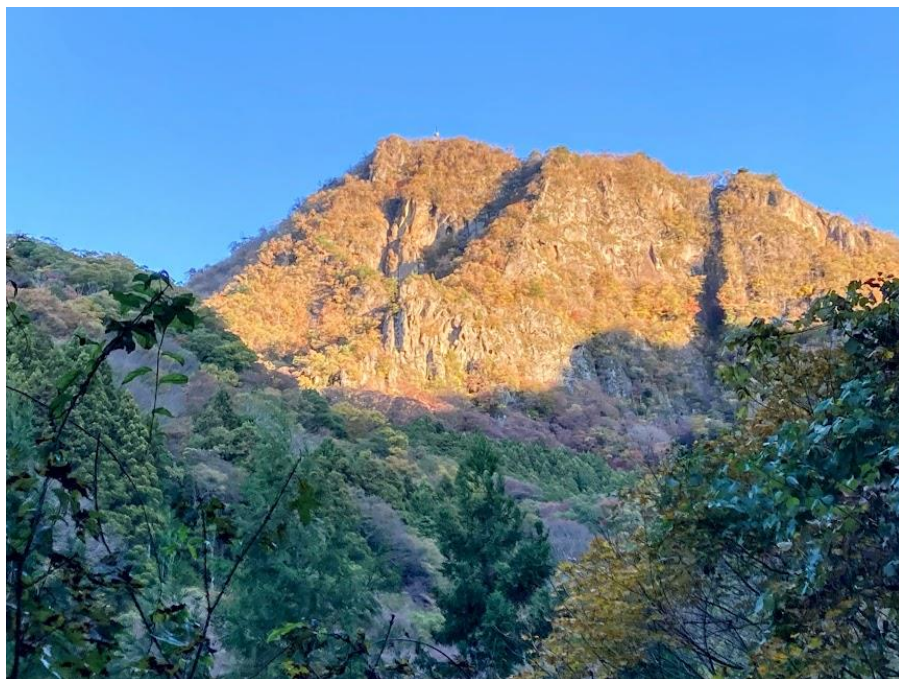


# 奥久慈・男体山～月居山

T野

2023年11月19日

メンバー： T野・T村M・T村E・T山



11月も半ばを過ぎると毎年のように訪れる場所がある。茨城県の北部に位置する奥久慈の山々だ。沢登りには寒く、雪はまだ降っていないこの時期こそ、奥久慈は真価を発揮する。標高は主峰の男体山ですら600mをわずかに超える程度、スカイツリーよりも低い。あとは高々400～500mの低山の連なりである。然して山が深いわけでもなく、大きい山塊というわけでもない。「深くもなく、高くもなく、大きくもない！！」では、なぜこんなナイナイ尽くしの山域に惚れ込んで、この時期、毎年のように通っているのか？

声を大にして言う、それは、想像を絶する素晴らしい紅葉に出会えるから・・・！！

■写真上 モルゲンロー  
トに輝く男体山！！

■写真下 目を凝らすと  
富士山が見える！！



この時期、長年、奥久慈親善大使として、奥久慈の山の良さを普及活動してきた僕だが、まだまだ

訪れて欲しい人はたくさんいる。今回は、奥久慈初参戦でT村夫妻がエントリーしてくれた。そして、もう一人のメンバーのT山さんは、もはや奥久慈の常連メンバーだ。今年は酷暑で紅葉が遅れているようで、まだ、紅葉が始まったばかりだとか。であれば、この山域の中で少しでも標高の高い男体山～月居山の稜線を歩くことにしよう！！

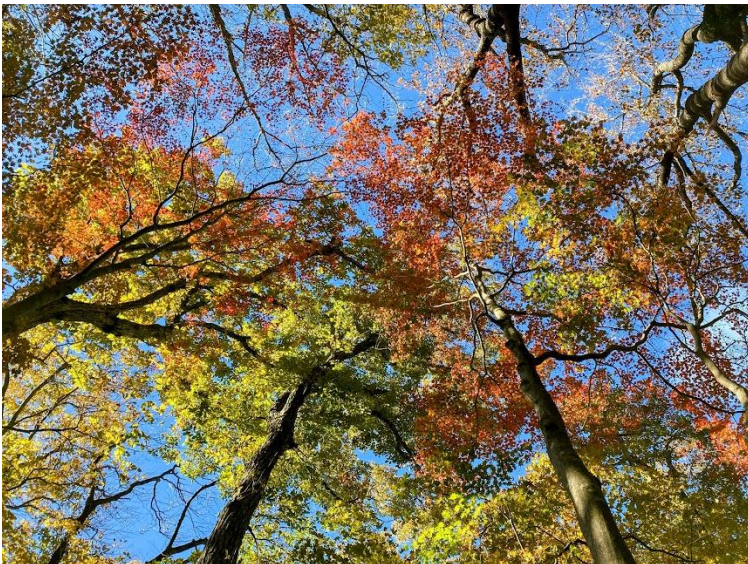




さらに、おまけで前日は那珂湊のお魚市場に寄って、海鮮丼を味わい、この名物のハマグリを購入して、キャンプ場で焼きハマ宴会を楽しもう！！という計画を立てた。盛りだくさんな奥久慈ツアーの開幕である。

キャンプ場で食べた焼きハマは、最初のうち、外で調理したためか力が弱く、妙に生っぽいハマグリを食していたが、テントの中に入れば火力も回復、焼き方のコツがわかってきて美味しく焼けるようになった。醤油と酒だけのシンプルな味付けだが、これが一番旨い！！地元の純米酒とおでんが花を添え、グルメな宴会を楽しんだ。心配だった生っぽい焼きハマは、幸いにも特に体に支障をきたすこともなかった。ヨカッタヨカッタ。

明けて11/19、早朝、近くのファミマで朝食を採って男体山の登山口の大円地へ。すでに結構、車が停まっていたが適地を見つけて駐車。準備して7:07 出発。男体山が朝日で神々しく輝き、600mそ



こそこの山には見えない貴祿がある。しばらく歩くと、鎖が連続する「健脚コース」と穏やかな「一般コース」に道が分かれる。いつも通りここは「健脚コース」へ。名前の通り急登が続くが、早くもモミジがところどころにあり、目を楽しませてくれる。やがて尾根に出ると一気に景色が開ける。辺りに高い山がないので、遠くに富士山も望めこれぞ高みの見物！！という感じだ。

■写真上 男体山山頂！！

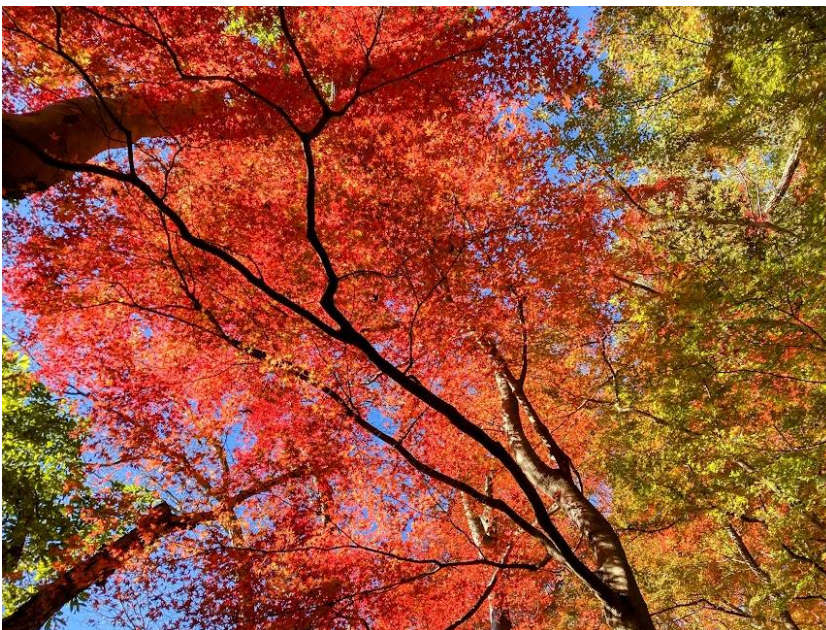
■写真中 紅葉の巨木の森！！

■写真下 植林がほとんどないのが良い！！



鎖場が続くが、なくても問題なく登れる程度で、むしろ変化があって楽しい登りだ。稜線まで登ると一般ルートと合流して、山頂は目と鼻の先である。山頂より少し手前の祠のあるピークからの景色が素晴らしい！！ここから望む筑波山は立派な山塊で見慣れている双耳峰ではない。日光連山や那須連山には白いものがちらちら見えて、早くも冬の装





いである。そして、山頂からは日立の海に陽が当たりキラキラと輝いている。さすが主峰である。

ただ、これはまだまだ序奏、この稜線の真骨頂はむしろここからが本番だ。というのも、里山にもかかわらず、植林がほとんどなく、ほぼ全山が自然林、巨木の森あり、モミジの森ありで歩いていてすこぶる快適な稜線である。セピア色の稜線に真っ赤なモミジが映え、まさしく「山が燃える♪」なのである。今年はモミジの赤だけでなく、黄色も元気で、「酷暑だったし紅葉は外れだろう。」という大方の予想は嬉しい方に裏切られ、写真を撮るのに忙しい。それにしても良い森が続く。これぞ、奥久慈の森の本領発揮である。

ただ、平坦な場所は少なく、アップダウンが続くので標高の割には良い運動になる。月居山に近づくと、モミジがますます燃え上がり、凄いことになっている。まだ緑のモミジもあるので「七分染め」といったところだろうが、でも、その方がむしろ初々しく、緑とオレンジと赤のグラデーションは実に見事、アツパレな美しさである。人間でいえば「18歳!!」といったところだろうか？

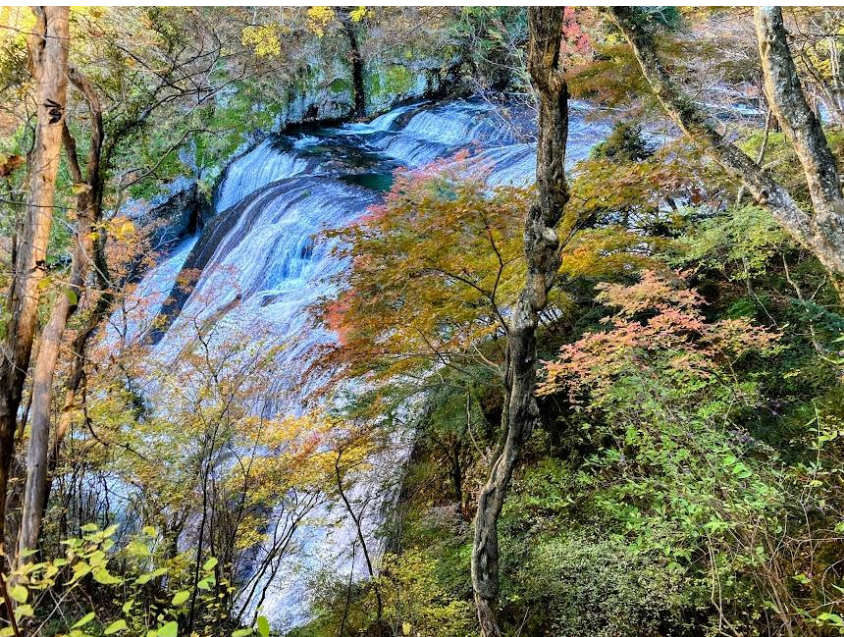
■写真上 モミジの森!!

■写真中 凄いことになっている!!

■写真下 グラデーションがキレイ!!

月居山に着くと、山頂は大勢の人で賑わっていた。まあ、ここを訪れるだけなら散歩気分であられるし、それでこれだけのモミジの紅葉が見られるなら、人気があるのも頷けるというも





のだ。充分モミジを満喫したら、最後の見どころ、袋田の滝へと向かう。最近まとまった雨が降ったのか、今日の袋田の滝は水量豊富で迫力があつた。いつもはチョロチョロなので、こんなに見事な袋田の滝は初めて見た。紅葉もまだ残っていたので、ここも実に見応えがあつた。

さて、今回辿ったルートは5~6時間ほどの、奥久慈の中ではそこそ歩きがいのあるルート、森の美しさでは一押しのお勧めルートだ。でも、奥久慈の魅力はまだまだ終わらない。甲乙つけがたいお奨めの場所は、まだまだ満載なのである。さらに、僕もまだ歩いていないモミジの森が、まだあちこちにたくさん眠っているらしい。そういうルートは、めったに記録が出ないのでなかなか見つけにくいけど、こういう場所こそ、自分達貸切の贅沢な紅葉狩りが楽しむことができるので見逃すことはできない。ということで、まだしばらくは楽しめそうである。だから僕はこの時期「そうだ、京都に行こう！！」ではなく「そうだ、奥久慈に行こう！！」となるのである。

■写真上 月居山は城跡である。

■写真中 生瀬富士、ここも良い山である。

■写真下 水量豊富な袋田の滝！！素晴らしい！！

さて、袋田の滝を満喫したらハイキングは終了である。ここから車をデポした大円地までどうにかして戻らねばならない。それがこのルートの唯一の欠点である。しかし、





うまい具合に袋田駅行きのバスが出発直前だったので、それに乗り、駅に着くとカラフルなローカル線の気動車が「おせーぞ！！」とばかりに出発を待っていていたのでそれに飛び乗り、小さな旅を楽しみ西金駅で下車、ここでタクシーを予約して、車を駐車した大円地まで順調に戻ることができた。ただ、タクシー代は5~6 kmなのに¥3480 とかなり高額。でも、一人¥1000 でお釣りがくるのでどうしても歩く気にはなれなかつ

た。元気な人はタクシー代ケチって歩いていても良いと思う。

奥久慈は決して裏切らない！！今回も楽しかった！！同行いただいたメンバーの皆さん、有難うございました！！興味のある人、この時期、僕は奥久慈の山行を必ず出します。よかったら一緒にしましょう！！ではでは・・・。

■写真 袋田の滝下部！！

#### ■コースタイム

大円地 (7:07) ~ (8:25) 男体山 (8:40) ~ (12:10) 月居山 (12:30) ~ (13:20) 袋田の滝 (13:30) ~ (13:45) バス停